

6 学校教育

2022年度（令和4年度）主要施策

《学びに向かう力・学び続ける力を育成する学校教育の推進》

1 主体的・対話的で深い学びの推進

(1) 「学びが面白い」と実感する「子ども主体の学び」づくりの推進

変化の激しい社会において、自ら課題を見つけ、考え、判断して行動できる力（知）、思いやりや感動する心など豊かな人間性（徳）、たくましく生きるための健康や体力（体）を身に付けることができるよう「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を行う。

① 小中一貫教育推進事業

- ・ 小中一貫教育カリキュラムに基づく「自ら考え学ぶ授業」への転換
- ・ 教員の授業づくりを確保するための校務補助員や、学校図書館を活用した学習活動や環境整備等の支援を行う小中一貫教育学校図書館補助員の配置

② 「学びづくりフロンティア校」事業

保幼小学びの接続、ICT活用、コミュニティ・スクール、学校図書館などを入口に探究することで、すべての子どもたちが、学ぶ意欲や知的好奇心を発揮できる場、子ども一人一人の学びを促す教師の役割等について、実践・検証・改善を行うとともに、その過程を発信する。

③ 「教科の専門性パワーアップ」事業

○ 福山ティーチャーズ・アカデミー

積極的に異分野の知見を取り入れ、子ども一人一人の学びを促すファシリテーターとして「子ども主体の学び」を実現するために、これまでの教育の在り方や価値観を問い直し、自己課題を踏まえた研究テーマに基づいた実践研究を行う。

④ 「学力の伸びを把握する調査」事業

児童生徒一人一人の学力の伸び及び非認知能力（学習意欲、自己肯定感等）の変容を経年的に把握し、自校の「子ども主体の学び」づくりの取組を評価し、個に応じた学びの在り方を工夫する。

⑤ 英語教育推進事業

外国語指導助手（ALT）を幼稚園、小学校、中学校及び義務教育学校に平均月4回程度派遣する。

⑥ 外国語ラウンドシステム事業

4技能（聞く・読む・話す・書く）の総合的な定着を目指す「ラウンドシステム」を導入した授業の研究・実践を通して、生徒が自分の考えや気持ち、事実などを英語で表現することができる力を育成する。

⑦ 北京市教育交流推進事業

学校訪問を中心とした交流内容に加え、スポーツや科学技術、芸術文化等に関する専門大学を訪問する等、参加中高生がより視野を広げ、主体的に学ぶことのできる場となる教育交流を行う。

⑧ 芸術文化体験事業

ふくやま美術館へ児童を招待し、絵画等の芸術作品の鑑賞を通して、豊かな創造力・想像力や思考力などを養う。

⑨ キャリア教育推進事業

学校、家庭、事業所（地域）の三者が連携して行う「チャレンジ・ウィークふくやま」（職場体験）を通して、生徒が日々の授業等で身に付けた知識や技能を実際に仕事で発揮したり、課題を発見し

たりする力を育む。

(2) 学習端末を活用した学びの深化

目的に応じた学習端末活用スキルを獲得し、デジタルとリアルな体験とを組み合わせることで学びを進め、考えること、分かること、表現・創造することそのものを喜び、楽しむ、内発的動機に基づき「学びが面白い」と実感する「子ども主体の学び」づくりに取り組む。

① デジタル・シティズンシップ教育の推進

デジタル世界において、人権と民主主義のための善き社会を創る市民となることを目指す「デジタル・シティズンシップ教育」に基づき、端末を学習者中心の文具として日常的に活用し、学習意欲や情報活用能力を含めた学力の向上を図る。

(※デジタル・シティズンシップ教育：日常的なICTの活用を前提に、デジタルに関連する人的、文化的、社会的問題を理解し、責任を持ちポジティブに利用する能力とスキルを育む教育。行動規範やルールを教え徹底するこれまでの「情報モラル教育」と異なり、行動の善悪を自分で判断できる力を身につけることを目的とする。)

② 日常のデジタル化による学習者主体のICT活用

- ・ 日々の授業を中心とした教育活動における、情報検索、文書作成、表計算、プレゼンテーション等の機能の活用
- ・ オンラインによる資料配付、宿題や課題の配信・提出・添削・返却、アンケートの実施と集計、保護者会や個人面談等、クラウドツールの活用
- ・ 各学校の実態に応じて選択・決定したEdTech(AI型ドリル教材等)の活用
- ・ ICTの日常的な利活用を前提とし、安全かつ責任を持って行動するための理由と方法を主体的に考えるデジタル・シティズンシップ教育の推進

③ 緊急時等におけるICTの活用

新型コロナウイルス感染拡大による臨時休業等の緊急時、積極的なオンライン授業を実施する。

④ 学習者用デジタル教科書実証事業(文部科学省主催)

小学校5・6年、中学校1～3年の児童生徒を対象に、英語と学校が選択した英語以外の1教科のデジタル教科書を導入し、アニメーション、参考資料、作画・描写など、様々な機能を活用した主体的・対話的で深い学びを推進する。

⑤ ヘルプデスクの導入

24時間対応の相談窓口を設置し、学習端末に係る不具合や、操作に関する問合せに対応する。

(3) 就学前と学びを繋ぐ小1カリキュラムの編成・実施

就学前との連続性を持たせた、小学校第1学年カリキュラムを編成し、遊びや体験を通じた言葉や数の確かな習得を図る。

(4) 行動化できる学びを牽引する中高一貫教育の推進

生徒一人一人の進路実現を図るため、教育環境及び指導体制の充実を図り、6年間の計画的、継続的な指導を行う。

① 学力向上推進事業

② グローカル人材育成事業

将来、生徒が地域及び世界において活躍するための意欲と態度を育成するため、地元企業の学習及び海外語学研修や姉妹校等との交流を行う。

2 多様な学びの場の整備

子ども一人一人の個性や多様性を大切にし、すべての子どもたちが「学びが面白い」と実感する「子ども主体の学び」を推進する。

- (1) 校内フリースクール「きらりルーム」校外フリースクール「かがやき」における学びの環境の充実
「かがやき（東部）」を伊勢丘幼稚園跡地へ移設する予定
- (2) 学校図書館環境整備事業
 - ・ 子どもたちが多種多様な情報に触れることのできる本の充実や自発的に本を選び、親しむことのできる環境整備に取り組み、学校図書館を子どもたちの知的好奇心を醸成する開かれた学びの場とする。
 - ・ 各学校が、児童生徒の実態に応じて日常的に環境づくりを進め、利活用を促進するために、学校図書館の利用状況（利活用者数、貸出冊数等）の記録及びアドバイザーを講師とした研修を実施する。
- (3) オンラインによる学習機会の保障
校内外のフリースクール、家庭など、児童生徒が自ら学びの場を選択・決定し、オンラインで学習できる環境及び仕組み（評価、出席の基準等）の充実
- (4) 新たな学校の設置
2022年度（令和4年度）開校の広瀬学園（特認校）及び常石ともに学園（イエナプラン教育校）の教育内容の充実

3 学びをつくる教職員研修の充実

- (1) 教職経験に応じた研修
初任者、中堅、主任、管理職など、それぞれの教職経験や役割に応じ、自己課題の解決に向けた研修を実施
- (2) 教職員主体の研修
教職員による校内研修、教科別研修の企画・運営、学びを深めるICTスキルアップ研修、アンケートによるニーズ研修等、主体性を発揮できる研修を実施
- (3) 幼保小合同研修
幼保小の教職員が、遊びや体験を通して、学びの基礎となる「言葉」と「数」を獲得する過程を理解する合同研修や、互いに授業を見合い交流・協議する学区別研修を実施
- (4) 外部機関と連携した研修
プログラミング、マネジメント等、専門性を有する外部人材を迎えて行う研修や、教職員が外部機関に出向き、経営戦略やデジタル戦略等を学ぶ研修を実施

4 教職員が元気・笑顔で勤務できる環境の充実

- (1) 教員の業務を補助する体制の充実
補助員等の人材確保の仕組みづくりや、効果的な配置・充実を行うとともに、タブレット端末の活用による作業的業務のデジタル化を推進する。
- (2) 部活動指導に係る教員の負担軽減
部活動指導による教職員の長時間勤務を解消するため、外部人材を活用した部活動指導員の配置を

行うとともに、段階的な地域移行（モデル校）等、部活動体制の見直しを行う。

5 子どもの学びを支える教育環境の整備

（１）コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の導入

コミュニティ・スクールを導入し、学校・家庭・地域が連携・協働して教育活動を推進する体制を構築する。

（２）子ども主体の学びの場の整備

① ICT教育機器の整備

児童生徒の主体的な学びづくりを推進するための教育環境を整備する。

- ・ 小学校の普通教室へ電子黒板を整備

② 学校施設の耐震化

学校施設の耐震化については、校舎等の老朽化に対応すべき建替え等も含めて、計画的に進める。

- ・ 校舎改築
小学校…西小，戸手小，常金丸小

③ 屋内運動場床改修

児童生徒の学習環境の改善を図るため、老朽化した床の塗装替え又は全面張り替えを実施する。

④ 学校規模・学校配置の適正化

少子化が進む中、一定の集団規模を整え、子どもたちに主体的・対話的で深い学びを通して変化の激しい社会をたくましく生きていく力を育む。

- ・ 学校再編事前事業
- ・ （山野・広瀬・加茂）開校準備委員会の開催，児童生徒の事前交流事業の実施，教育課程の編成，加茂小・中学校の大規模改修等
- ・ 学校施設の整備
想青学園（義務教育学校）の校舎改築，新市中央中学校の大規模改修
- ・ 通学支援事業
スクールバス運行业務委託
- ・ 通学支援事業費補助
広瀬学園への通学に係る交通費補助

⑤ 部活動の強化と環境の整備

福山高等学校への優れた指導者の招へい，屋内練習場の新設やグラウンドの拡張などの環境整備を行い，部活動の強化を図る。

（３）安心して学ぶことができる環境づくり

① 給食調理場設備整備

新型コロナウイルス感染症対策及び熱中症対策として換気設備や厨房機器を整備する。

② 通学路の安全確保

福山市通学路交通安全プログラムに基づき合同点検及び対策を実施する。（中学校の通学路を含む。）

（４）データを活用した子ども見守り・成長支援体制の構築

子どもや家庭の異変を早期に発見し，対応する仕組みの構築に向け，福祉や教育に関するデータを分析する。

◆就学支援の充実

(1) 就学援助

経済的な理由によって、就学困難と認められる児童生徒の保護者に対して、学校給食費、学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、入学準備費、医療費、オンライン学習通信費の一部を援助する。

【援助の状況】

(単位：人，%)

| 区 分 | 2017 (H29) | 2018 (H30) | 2019 (R 元) | 2020 (R2) | 2021 (R3) |
|-----|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 小学校 | 3,700 (14.7) | 3,809 (15.0) | 3,531 (13.9) | 3,450 (13.7) | 3,329 (13.3) |
| 中学校 | 2,163 (18.7) | 2,065 (18.2) | 2,060 (17.6) | 2,013 (17.1) | 2,071 (17.3) |
| 計 | 5,863 (15.9) | 5,874 (16.0) | 5,591 (15.1) | 5,463 (14.7) | 5,400 (14.6) |

※人数は準要保護認定者及び要保護対象者の合計。

() は、市立学校における児童生徒に占める割合

(2) 奨学金

有用な人材の育成に寄与するため、学習意欲がありながら、経済的理由により修学が困難な者に対して学資を貸与するほか、大学等への受験や入学が困難な青少年に対して大学等への進学を支援するため、受験資金や入学準備金を貸与する。

① 福山市奨学資金 (対象：大学・短大・専修学校等)

| | | | |
|-------|--------------|-----|-------------|
| 修学資金 | 月 額 | 国公立 | 40,000 円 |
| | | 私 立 | 60,000 円 |
| 入学準備金 | 修学資金貸与決定者が対象 | | 500,000 円以内 |

② 誠之奨学金 (対象：高校・高等専門学校)

| | | | |
|-----|-----|-----|----------|
| 奨学金 | 月 額 | 国公立 | 10,000 円 |
| | | 私 立 | 20,000 円 |

③ 福山市青少年修学応援奨学金 (対象：大学・短大・専修学校等)

| | | |
|-------|--------------------|-------------|
| 受験資金 | 受験前に貸付け | 200,000 円以内 |
| 入学準備金 | 受験結果報告後 (入学前) に貸付け | 800,000 円以内 |

※卒業等の所定の要件により返還を免除する。

【貸付けの状況】

(単位：人)

| 区 分 | | 2017 (H29) | 2018 (H30) | 2019 (R 元) | 2020 (R2) | 2021 (R3) |
|-------------------|-------|------------|------------|------------|-----------|-----------|
| 福山市奨学資金 | 新規貸付け | 21 | 25 | 16 | 20 | 16 |
| | 継続貸付け | 67 | 58 | 53 | 44 | 43 |
| | 計 | 88 | 83 | 69 | 64 | 59 |
| 誠之奨学金 | 新規貸付け | 5 | 6 | 6 | 1 | 2 |
| | 継続貸付け | 9 | 5 | 10 | 11 | 6 |
| | 計 | 14 | 11 | 16 | 12 | 8 |
| 福山市青少年 修学応援奨学金 | 受験資金 | 10 | 11 | 11 | 10 | 11 |
| | 入学準備金 | 12 | 11 | 11 | 11 | 11 |

◆福山市研修センター・福山市教育相談センター

学校教育における今日的課題を踏まえ、教職員の教科指導、生徒指導等の実践的指導力の向上及び社会と
その変化に対応する資質・能力の向上を図るための教職員研修事業や、教育相談事業の充実を図る。

【センターの概要】

| | | |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 名 称 | 福山市研修センター | 福山市教育相談センター |
| 所在地 | 引野町南一丁目 17 番 31 号 | 北吉津町四丁目 13 番 5 号 |
| 電話番号 | 084-943-5516 | 084-924-5556 |
| 開設年月日 | 1994 年（平成 6 年）4 月 1 日 | 2016 年（平成 28 年）4 月 1 日 |
| 延床面積 | 587.99 m ² | 894.71 m ² |
| 開館時間 | 月～金曜日 午前 9 時 30 分～午後 5 時 | 月～金曜日 午前 9 時 30 分～午後 4 時 |
| 事 業 | <p>①教職員研修講座の開催 全ての研修を「子ども主体の学び」づくりに集中・関連させ、教職員の授業力と専門性の向上を図る。</p> <p>②研修環境の充実 教職員研修等において、研修室等の施設を提供し、研修を促進する。</p> <p>③福山市フリースクールかがやき（東部） 集団で学ぶことの苦手な児童生徒が、学校以外で選択できる学びの場の 1 つである。一人一人が違うことを前提に、自分のペースで学んだり、仲間とともに活動したりすることを通して、社会性やコミュニケーション能力を育成する。</p> <p>・開設日：月～金曜日 ・時 間：午前 10 時～午後 3 時</p> | <p>①教育相談 学校や家庭において、いじめ・不登校等様々な悩みをもっている幼児、児童生徒にかかわる教育相談を行う。</p> <p>②福山市フリースクールかがやき（中央） 集団で学ぶことの苦手な児童生徒が、学校以外で選択できる学びの場の 1 つである。一人一人が違うことを前提に、自分のペースで学んだり、仲間とともに活動したりすることを通して、社会性やコミュニケーション能力を育成する。</p> <p>・開設日：月～金曜日 ・時 間：午前 10 時～午後 3 時</p> |

※このほか、福山市フリースクールかがやき（西部）を設置

場 所：松永町四丁目 1 4 番 1 号 松永コミュニティセンター内

開設日：月～金曜日

時 間：午前 10 時～午後 3 時

◆学校給食の状況 2022年（令和4年）5月1日現在

(1) 実施状況

| 区 分 | | 総 数 | 完全給食 | | | ミルク給食 |
|--------|---------|--------|---------|---------|-------|-------|
| | | | 単独調理場方式 | 共同調理場方式 | 親子方式 | |
| 幼稚園 | 幼稚園数（園） | 9 | | | 9 | |
| | 園児数（人） | 290 | | | 290 | |
| 小学校 | 学校数（校） | 70 | 64 | 6 | | |
| | 児童数（人） | 23,996 | 22,855 | 1,141 | | |
| 中学校 | 学校数（校） | 31 | | 5 | 26 | |
| | 生徒数（人） | 10,966 | | 1,331 | 9,635 | |
| 義務教育学校 | 学校数（校） | 2 | 1 | 1 | | |
| | 児童数（人） | 486 | 137 | 349 | | |
| | 生徒数（人） | 317 | 77 | 240 | | |

※親子方式：親校（小学校）で調理した給食を子校（中学校）へ搬送する方式。

ミルク給食：ミルク（牛乳）を提供し、弁当を持参。

(2) 1食あたり給食費

幼稚園 255円（主食50円 副食145円 牛乳60円）

小学校 255円（主食49円 副食148円 牛乳58円）

中学校 290円（主食62円 副食170円 牛乳58円）

(3) 給食センター

| 名 称 | 福山市新市給食センター | 福山市沼隈給食センター |
|------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 所在地 | 新市町大字新市 885 番地 | 沼隈町大字下山南 1252 番地 |
| 電話番号 | 0847-52-5542 | 084-987-0380 |
| 開設年月日 | 1967年（昭和42年）2月 [2013年（平成25年）10月新築移転] | 1967年（昭和42年）4月 [2001年（平成13年）3月新築移転] |
| 延床面積 | 1,083.55㎡ | 576.34㎡ |
| 職員構成 (臨時職員含む) | 所長1名, 栄養士2名, 技術員11名 | 所長1名, 栄養士1名, 技術員9名 |
| 調理数 | 1,954食 (内訳) 戸手保育所 75 網引保育所 35 常金丸小学校 130 網引小学校 240 新市小学校 217 戸手小学校 407 駅家中学校 383 新市中央中学校 467 | 1,460食 (内訳) 想青学園(前期課程) 378 常石ともに学園 141 山南小学校 117 想青学園(後期課程) 261 松永中学校 366 精華中学校 98 至誠中学校 99 |